

北鹿新聞さんに掲載されました

令和4年3月16日(水)

海外留学 体験談から視野広げて 国際教養大生と交流

国際情報
中高生

が体験やグループディスカッションを通して、進路選択の視野を広げた。

大館国際情報学院(村上清秀校長)で15日、国際教養大学(秋田市)の学生らが講師を務め、留学体験などを講話するオンライン交流会が開かれた。参加した中学、高校生

ち、会社員30人、未就学児29人、小学生28人、施設職員17人など約138人、無症状が8人、感染者の濃厚接触者などが98人、不明・調査中が48人。医師が検査なしで判断する「見なし陽性」は8人だった。

県は県内の医療機関で1人、社会福祉施設で療養していた1人の死亡の報告が9日にあったと発表した。2人とも65歳以上で基礎疾患があった。性別や年代、居住地は非公表。死亡は県内で累計43人となった。

北秋田地域振興局 機関の職員感染

県は14日、北秋田地域振興局管内の機関に勤務する30歳代の女性職員が新型コロナウイルス



学生にオンラインで質問する生徒たち(大館国際情報学院)

担任していない。

小学1校の 学年閉鎖を延長

大館市

大館市は15日、新型コロナウイルス

ウィルスの影響で1日から17日まで学年閉鎖している小学校1校で、新たに同学年の児童の感染が確認されたとして、期間を18日まで延長すると発表した。校名や学年、感染人数は非公表。

生から、現地での学習方法や大学生活の講話を聞くことで、国際意識や進路意識を高めてもらう目的がある。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、直接対面することができないため、オンラインで実施した。

同大学の学生4人が講師を務め、中学3年生と高校2年生116人が参加した。このうち高校2年生文系クラスへの講話には28人が参加。高校1年時にフィリピンに1年間留学した女子学生は、「最初は環境や言語の違いがきつかったが、この苦境が現地の先生や友だちなど、人に頼ることの大切さを教えてくれた。経験は日本に帰ってきてからも進路などさまざまな面で役立った」と伝えた。

講話の後は、留学したい国ごとに分かれてグループディスカッション。生徒らは「留学先の治安は「コミュニケーションを取れるようになるまで」くらい掛かったか」など、留学先で予想されることなどを学生に質問していた。

曲田友雄さん(高校2年生)は「現地の経験や学んだことが将来に生きてくると分かり、より留学に興味を持った」と話した。

掲載は
北鹿新聞 (49) 1406



フランス留学の話をしました。



最後に記念写真を1枚!